

平成19年度 しがNPO協働推進プロジェクトの展開

未定稿資料
NPO活動促進室

[事業全体の方向]

平成16年度に開催した「しが協働モデル研究会」の報告書に基づいて、平成17年度から協議の場としてラウンドテーブルや協働ルーム、部局を超えた事業である協働部活プロジェクトのテーマ選定や立ち上げに取り組んでいるところである。

平成19年度は取り組みから3年が経過する節目の時期であるため、今までの取り組みの検証を進めるとともに、協働を推進する人材育成やその土壌づくりに取り組み、相乗効果の得られる協働の推進を図る。

また、これらの成果や課題をふまえながら、次年度以降の取り組みについて、一定の方向づけを行う。

しが協働推進ボード [継続]

18年度に引き続き運営を行っていく。

協働事業の評価をはじめ協働を進めるための環境整備について、提言、助言をいただく。特に、しが協働モデル研究会報告より3年が経過することから、その見直し方法について検討するとともに、協働での契約や評価について重点的に検討を行う。

協働ネットしが [継続]

18年度に引き続き運営を行っていく。

協働に関する情報提供を適宜行っていくとともに、個人情報などのセキュリティ対策を補強しながら、より使いやすいサイトを目指す。

ラウンドテーブルしが [継続]

18年度に引き続き運営を行っていく。(月1回程度)

さらに利用しやすく、関心が高まるようテーマ募集や参加方法、開催場所等について工夫していく。

しが協働ル～ム [継続]

18年度に引き続き運営を行こなうが、ラウンドテーブルとのつなぎや、利用しやすく、関心が高まるよう募集や利用方法等について検討を行い、具体的な協働事業に結びつくよう普及啓発を図る。また、協働事業のふりかえりの場としても活用する。

しが協働部活プロジェクト [継続]

事業の経過

平成17年度から3テーマを採択し、各テーマごとに部局横断的にプロジェクトチームを立ち上げ、企画立案作業に取り組んでいるところであるが、平成18年度で「フードウッドマイレージの低減」が終了するので、次の2テーマについて取り組みを進める。

地域で支える安全安心なまちづくり - まちの保安官制度

つながる・かがやく・かわる - しが環境学習ネットワークプロジェクト

来年度以降に向けての対応

最終年度として、調査研究が必要なテーマや平成19年度以降に事業実施が可能な事項について、モデル事業として実施するとともに、次年度以降の仕組みについて検討・調整を行う。

また、部活プロジェクトは事業が複数の部局にまたがるため、通常部活、モデル実験事業や現地調査に要する経費について、当課で予算要求する。

事業経費

通常部活 (7回)

- ・コーディネイター謝金、旅費 ・部員旅費 ・場所使用料
- ・資料収集代 ・報告書作成費 報告会開催経費 等

各テーマ毎の取り組み

まちの保安官制度

モデル事業費

しが環境学習推進ネットプロジェクト

モデル事業費

協働推進セミナー [新規]

開催趣旨

平成18年度に開催した「NPO活動推進自治体フォーラム滋賀大会」での議論や県内で形成されたネットワークを活かすとともに、NPOや協働への理解を深め、今後の県内での行政とNPOの協働のあり方について議論、検討していくため、県内の行政職員を中心にセミナーを開催する。

開催内容・回数 (予定)

講演・ワークショップ、NPO現場体験等

3回